

平成30年第1回定例夕張市議会

平成30年度 教育行政執行方針

平成30年3月7日

## 平成30年度 教育行政執行方針

1	はじめに .....	1
2	教育行政の基本姿勢 .....	1
3	重点施策の推進 .....	2
	(1)「確かな学力を身につける教育の推進」 .....	3
	(2)「豊かな人間性を身につける教育の推進」 .....	5
	(3)「健やかな心身を育む教育の推進」 .....	8
	(4)「人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進」 .....	9
4	おすびに .....	11

## 1 はじめに

平成30年第1回定例市議会の開会にあたり、夕張市教育委員会の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

夕張市は平成29年度より、財政の再建のみならず、地域の再生も見据えた、新たな財政再生計画を策定し、スタートしたところでございます。

夕張市教育委員会は、財政再生計画に14事業を盛り込み、平成29年度はすでに12事業を開始しております。平成30年度には更に2事業を開始するところでございます。

平成30年度も、総合戦略との整合性を図りながら、人材育成を柱とした教育環境の充実を目指し、教育が果たさなければならない役割に向けて着実に取り組んでまいります。

## 2 教育行政の基本姿勢

ゆうばりの子どもたちが、未来に夢や希望を持ち、故郷（ふるさと）夕張に誇りをもてる地域づくりに取り組んでまいります。

そのため、子どもたちには思考力、判断力、表現力等のバランスに加え、確かな学力や豊かな心、健やかな体を育成するた

め、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた教育の推進に努めてまいります。

また、市民一人ひとりが生涯にわたり健康を考え、スポーツや文化に親しみ、生きがいを感じる豊かな生涯学習社会の実現を目指すため、学校・家庭・地域・行政が連携し、協働するまちづくりを推進いたします。

以上を鑑み、夕張市教育大綱の基本目標に基づき、平成30年度で取り組む重点施策について申し上げます。

### 3 重点施策の推進

教育は一朝一夕でなしえるものではありません。夕張市の将来を担う子どもたちのために、また市民のみなさまが幸せを感じる未来のために、教育の「種」を根気強くまき続けることが重要です。

そのために、夕張市全体の教育の連動性・継続性が大切であり、ゼロ歳から18歳までの継続した教育の魅力化構築に努めてまいります。

教育委員会制度の改正により、夕張市教育大綱が制定されました。

今後市民のみなさまには夕張市教育大綱の趣旨をご理解いただき、教育の課題を共有することが重要と考えております。

今後とも教育環境の充実を図り、学べる幸せを感じる教育に取り組み、スピード感をもって「形」にしてまいります。

### (1) 「確かな学力を身につける教育の推進」

子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くためには、基礎的な知識・技能と、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力及び想像力が重要です。義務教育においては、特に「学力の向上」と「体力の向上」が喫緊の課題です。

学力向上施策として、ICTを活用した教育の充実を図ってまいります。平成29年度は、小学校において通信環境の整備とタブレットを導入しており、今後も教科に対する興味・関心を高めてまいります。

一方、平成32年度には「小学校における外国語の教科化」及び「大学入試改革」を迎えることから、その対策として平成29年度に小中高一貫のマンツーマンオンライン英会話システムを導入いたしました。平成30年度はこのシステム活用を充実させ、グローバル人材の育成と特色ある英語教育の推進に努めてまいります。

また、ALT（外国語指導助手）の活用では、小・中学校のみならず、幼稚園や保育園においても充実させ、英語遊びを通じて外国語に慣れ親しむ環境を整えてまいります。

平成29年度、ゆうばり小学校では基礎学力向上を目指し、放課後学習支援事業（サポートスタディ）を実施いたしました。

希望する児童数が予想を超えたことから、平成30年度も

継続して実施してまいります。

夕張中学校においても、学校との協議を十分に行い、ニーズ調査等を実施した上、必要性について検討してまいります。

また、夕張市といたしましては、今後も「夕張高校魅力化」に継続して取り組んでまいります。夕張の高校生のチャレンジを引き出す、夕張ならではの学びのプログラム策定のほか、現在開設準備中の「公設塾」の本格実施を進めてまいります。

特に「公設塾」では、生徒の学力に応じたきめ細かな指導により、国公立大学を含めた進学につなげていくほか、生徒が主体的に企画し、外部講師を招く「キセキの授業」の実施など、高校生の未来につながる学びを提供してまいります。

夕張市では地域と学校を結ぶ事業として、これまで「学校支援地域教育協議会」及び「小・中学校サポート会議」を行ってまいりました。

平成30年度は、この協議体を基盤とし「地域とともに歩む学校」としての機能をもつ『学校運営協議会（コミュニティスクール）』を導入いたします。

幼小中高特の教育機関と地域がパートナーとなり、子どもたちを支える体制づくりをより一層強化してまいります。

この組織を通じて、地域資源である人材活用を推進し、教育現場の負担軽減とゆとりある教育活動につなげ、一人ひとりの児童生徒へのきめ細かな指導と支援に努めてまいります。

特別支援教育につきましては、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、「夕張市障がい児教育促進協議会」や「夕張市特別支援教育連携協議会」等と連携を図りながら、特別支援教育支援員の配置・活用を推進し、一人ひとりの教育ニーズに応じた指導や支援を図るための教育環境の整備を進めてまいります。

体力の向上につきましては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、高等教育機関の専門知識を活用し、幼小中高等学校の一貫した取り組みを推進してまいります。

## (2)「豊かな人間性を身につける教育の推進」

子どもたちがお互いに尊重し合い、礼儀正しく思いやりのある人間育成に努めてまいります。

また、子どもたちが安心・安全な学校生活を送るため、様々な施策を実施してまいります。

楽しい学校生活を送るため、子どもたちの満足度と意欲、さらに学級集団の状態を確認できる「Q-U」を引き続き実施し、観察だけでは気づけない部分を確認し、いじめの未然防止及び早期発見、早期対策に努めてまいります。

平成30年度より小学校、平成31年度より中学校で特別な教科として位置づけられる教科「道徳」につきましては、指導方法に関する研修会への積極的な参加、道徳教育用教材の積

極的な活用により、児童生徒の健全な育成に対応してまいります。

学校保健につきましては、予防的見地からインフルエンザを含む感染症や食中毒、う歯、アレルギー等の対策を講じてまいります。医療機関・保健所等との速やかな連携を図り、元気で安全な学校生活が過ごせる環境づくりに努めます。

学校給食につきましては、地元食材や季節に応じた新鮮で安全な食材を積極的に取り入れ、食を通じて地域を理解し、食文化の継承と自然の恵みや勤労の大切さを育てまいります。

児童生徒の通学につきましては、「夕張市通学路交通安全プログラム」に基づき、様々な関係機関と連携強化し、現状を確認しながら安心・安全なまちづくりを推進し、地域全体で子どもたちを守り育む意識を高めてまいります。

また、児童見守りシステムや一斉同報サービスを引き続き活用しながら、保護者への安心感の醸成を図ってまいります。

放課後の児童の居場所づくりにつきましては、学童クラブの他、子どもの居場所づくり事業として、平成28年度より旧緑陽中学校を活用して実施している「げんき」、文化スポーツセンターで実施している「クレヨン会」を引き続き実施してまいります。



学習環境の整備につきましては、安心・安全な学校生活と学習環境を保つため、適宜、対応してまいります。

教職員の資質・能力の向上につきましては、研修会への積極的な参加や、市内の教育関係機関と連携しながら、研修会の開催に努めてまいります。

また、教職員による体罰やわいせつ行為、飲酒・酒気帯び運転などの不祥事防止に努めるとともに、教職員の健康管理につきましては、引き続きストレスチェックを活用し、早期発見・早期治療に向け対応してまいります。

就学前児童に対する施策につきましては「夕張市子ども・子育て支援事業計画」を基に、子ども・子育て会議による意見を踏まえ、子どもの減少に適切に対応してまいります。

また、平成28年度に策定した「認定こども園施設整備基本計画」を基に、平成29年度は「夕張市認定こども園基本設計」を策定いたしました。平成30年度につきましては、実施設計を行い、平成32年度開園に向け着実に進めてまいります。

今後も国の方策に注視しながら、保育料の更なる負担軽減措置及び職員の処遇改善に努め、子育て環境の充実を目指してまいります。

### (3)「健やかな心身を育む教育の推進」

健康でたくましい身体づくりには、スポーツ環境の整備・充実に加え、計画的なスポーツ活動が重要です。

「文化・スポーツ交流のまち・夕張」の推進に向け、スポーツ指導者の招聘・育成並びに関連施設の活性化に努めてまいります。

文化スポーツセンターを中心としたスポーツ関連施設につきましては、効率的かつ効果的な運営のため、引き続き指定管理者とともにスポーツ推進施策に努めてまいります。

また、すでに指定管理による運営が行われている夕張市民健康会館、夕張市営球場、夕張市紅葉山パークゴルフ場につきましても、引き続き連携を図りながら運営の円滑化と利用促進を図ってまいります。

総合型地域スポーツクラブにつきましては、ノルディックウォーキングやランニング、高齢者対象の運動教室等のイベントを実施しております。平成30年度も引き続き市民の体づくりを目指した魅力あるイベントを開催し、参加者増加を図り、健康の保持増進に努めてまいります。

夕張市には道内でも有数のスキー場があることから、引き続きスキー授業を実施し、地域の特色を生かした、魅力ある教育課程を推進してまいります。

部活動の活性化につきましては、顧問不足の現状改善のため、道教委が実施する「外部指導者活用事業」の活用を図ってまいります。生徒にとって魅力を感じる部活動実施とともに、教職員の負担軽減に向けた取り組みを推進いたします。

#### (4) 「人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進」

市民が潤いある生活を送るとともに、持続可能な地域づくりを進めるために、生涯学習活動を通じて、その成果を生かせる環境づくりが重要です。

そのため、平成29年3月に策定した「第6次夕張市社会教育中期計画」に基づいた生涯学習社会の実現に努めてまいります。

市民の様々なニーズに応えるためには、学習機会を提供する「人材バンク」の整備が重要です。平成29年度は「人材バンク」に関連する規約等を整備いたしました。平成30年度は広報等を通じて人材バンク構築のための基盤を整備し、活用に向けた方策に努めてまいります。

平成31年度完成予定の拠点複合施設につきましては、子育て支援・社会教育事業の拠点施設としての役割を担うことから、各種関係団体と様々な事業の協議・検討を図ってまいります。

文化財につきましては、「夕張市文化財保護委員会」での協議を踏まえながら、国の天然記念物として指定された「夕張岳」、北海道の天然記念物として指定された「夕張の石炭大露头」、夕張市の指定文化財である「採炭救国抗夫の像」等の保存・活用・普及活動に取り組んでまいります。

郷土学習につきましては、ゆうばり小学校の「地域資料室」、夕張中学校の「ゆうばり歴史・教育資料室」を市民に広く公開し、夕張市における学校の統廃合や炭鉱の歴史を学ぶ機会を推進してまいります。

また、社会科副読本「ゆうばり」を活用した総合的な学習の時間を充実し、特色ある地域学習の推進に努め、子どもたちの郷土愛教育の推進に努めてまいります。

図書コーナーにつきましては、蔵書の充実に努めるとともに、市民ボランティア団体による読み聞かせ活動等、各種団体の協力を得ながら、読書活動を推進してまいります。

また、平成31年度開設予定の拠点複合施設における図書事業につきましても、関係団体と事業展開について協議し、図書の充実と利便性を高めてまいります。

市所蔵の美術品につきましては、適切な管理に努めるとともに、市内の公共施設などを活用し、積極的に展示・公開に努めてまいります。

高齢者教育につきましては、「もも倶楽部（高齢者学級）」の開設により、一人でも多くの高齢者が参加し、仲間づくりに努めるよう進めてまいります。今後は、高齢者自らが事業の企画・運営に携わり、自主運営できる環境づくりに努め、生きがいや健康づくりにつなげてまいります。

石炭博物館につきましては、平成28年度から2か年にわたる大規模改修を終え、平成30年度はリニューアルオープンをいたします。

今年は「北海道」と命名されて150年の節目を迎えますが、北海道の歴史とともに歩んできた、夕張市の石炭産業の歴史や文化、芸術等への理解を深めることが肝要です。

平成30年度より、郷土文化施設として「地域で支え、関わり、学ぶ場としての博物館」「地域の記憶を補完する博物館」「変わり続ける博物館」をコンセプトに、北海道150年を踏まえ、空知の旧産炭地域の中核施設になるよう、市民利用の促進と石炭産業の歴史を発信してまいります。

#### 4 おすびに

平成29年度、夕張市は新たな財政再生計画に基づきリ・スタートし、多くの事業が進められ現在に至っております。

夕張市の礎となる子どもたちの教育の推進はもとより、市民のみなさまに「住んでいて良かった」と感じていただくため、文化・芸術・スポーツの学習機会を力強く推進してまいります。

市民のみなさま並びに市議会議員のみなさまには、今後も引き続きご理解とご協力ご支援をいただけますよう、心からお願い申し上げます、平成30年度教育行政執行方針といたします。